

スーパー・メガリージョンの形成に向けた 中部圏の課題と将来像

2018年12月17日



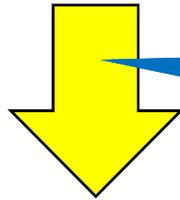
本日お話をさせて頂くこと

1. 中経連の危機感とアクション
2. リニアへの期待
3. 中部圏の特徴(SWOT分析)
4. 「将来ビジョン」で中部圏が目指す地域像
5. 将来像実現に向けて:①求められる『機能』
6. 将来像実現に向けて:②整備すべき『環境』
7. 「目指す姿」実現に向けた取組み

1. 中経連の危機感とアクション

□ 成り行きでの中部圏の中長期的な姿(中経連の抱く危機感)

- 生産年齢人口の減少に伴う経済規模の縮小
 - ✓ 経済規模維持には生産性向上は不可欠
- 世界情勢の地殻変動・産業構造の変化に伴う産業競争力の低下
 - ✓ EV化・自動化・シェアリング等によるモビリティの変化
 - ✓ デジタル技術の活用・ネットワーク化による「ものづくり」の変化
- 現状維持のままでは中部圏は衰退
 - ✓ グローバルにおける都市間競争は激化の一途
 - ✓ 中長期的な構造変化を踏まえた地域競争力の強化が不可欠



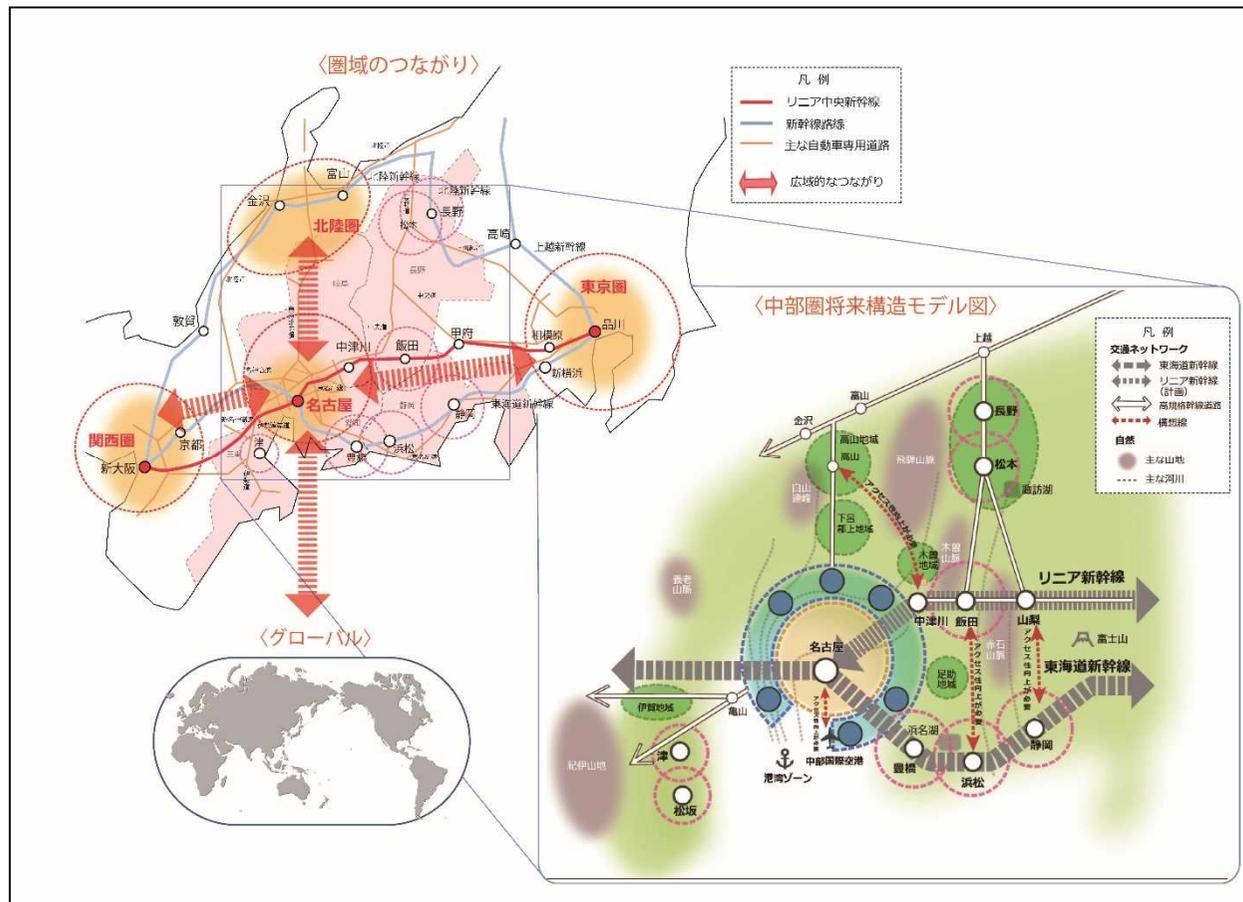
リニア開業で形成される
スーパー・メガリージョンによる対流・交流の創出は、
懸念挽回のチャンス！

□ 中経連としてのアクション

- 広域でステークホルダーが共有できる「**将来ビジョン**」策定
キーワード: 生産性の飛躍的な向上
ものづくりとデジタル技術の活用による産業の融合・進化
- 「将来ビジョン」の実現に向けた「TO DO」、「推進する仕組み」の検討

2. リニアへの期待

- 中部圏は「域内広域での連携・つながり」「グローバルを含めた圏域外とのつながり」の強化による持続的な発展実現が課題。リニア開業には触媒効果を期待。
- リニア開業でスーパー・メガリージョンの中心となり、交通利便性の高さはさらに向上！
 - 利便性向上は「中部圏に人・投資を呼び込む」点、
 - 「中部圏外の資源(人・もの・技術等)と連携してのエコシステム構築」点で大きな期待。

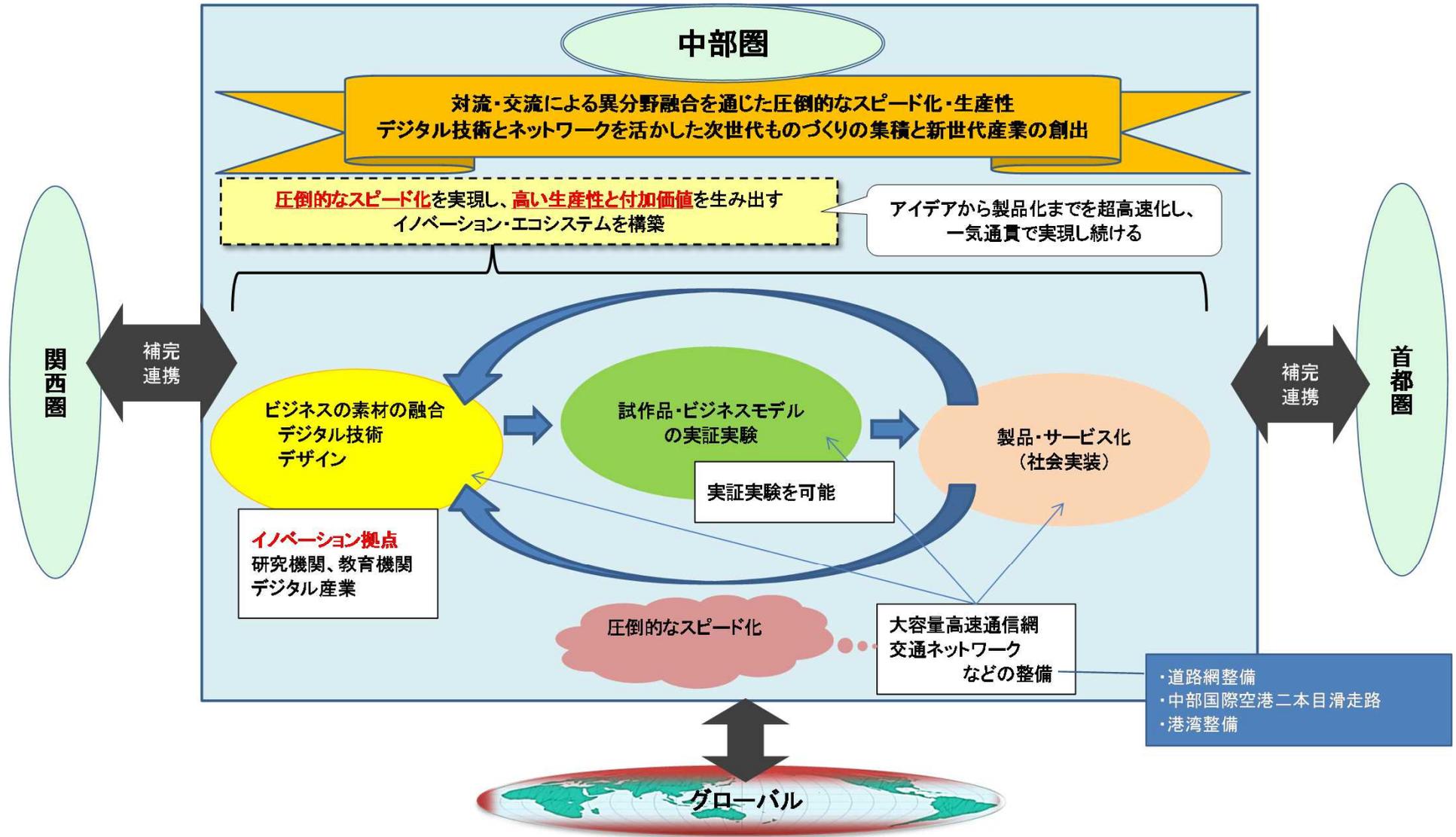


3. 中部圏の特徴(SWOT分析)

- 中部圏は「ものづくり産業の集積」や「暮らしやすい環境」を強みとして有する一方、「産業構造の変化」や「グローバル化の進展」への対応には課題を残す。
- リニア開業により、三大都市圏の中心に位置する強みは大きなチャンスとなる。

		S(強み)	W(弱み)
内部環境		<ul style="list-style-type: none"> • 自動車産業など、多様なものづくり産業の集積 • 大学・民間・公的機関の高度な研究機関が豊富 • ゆとりがあり暮らしやすい環境 • 都市と自然の一体的な圏域 	<ul style="list-style-type: none"> • 情報産業の集積が極めて弱い • ポテンシャルの連携が進んでおらず、ネットワーク化による効果が発揮できていない(交通網、大学・研究機関、都市間等) • 地域のグローバル化が進んでいない • インバウンド増加率が低迷
	外部環境		<ul style="list-style-type: none"> • デジタル技術の活用 (農林水産業、ものづくりでの活用・融合等) • スーパー・メガリージョンの中心に位置 • グローバリゼーションの進展による世界規模での対流・交流の活発化、インバウンド増加の期待

4. 「将来ビジョン」で中部圏が目指す地域像

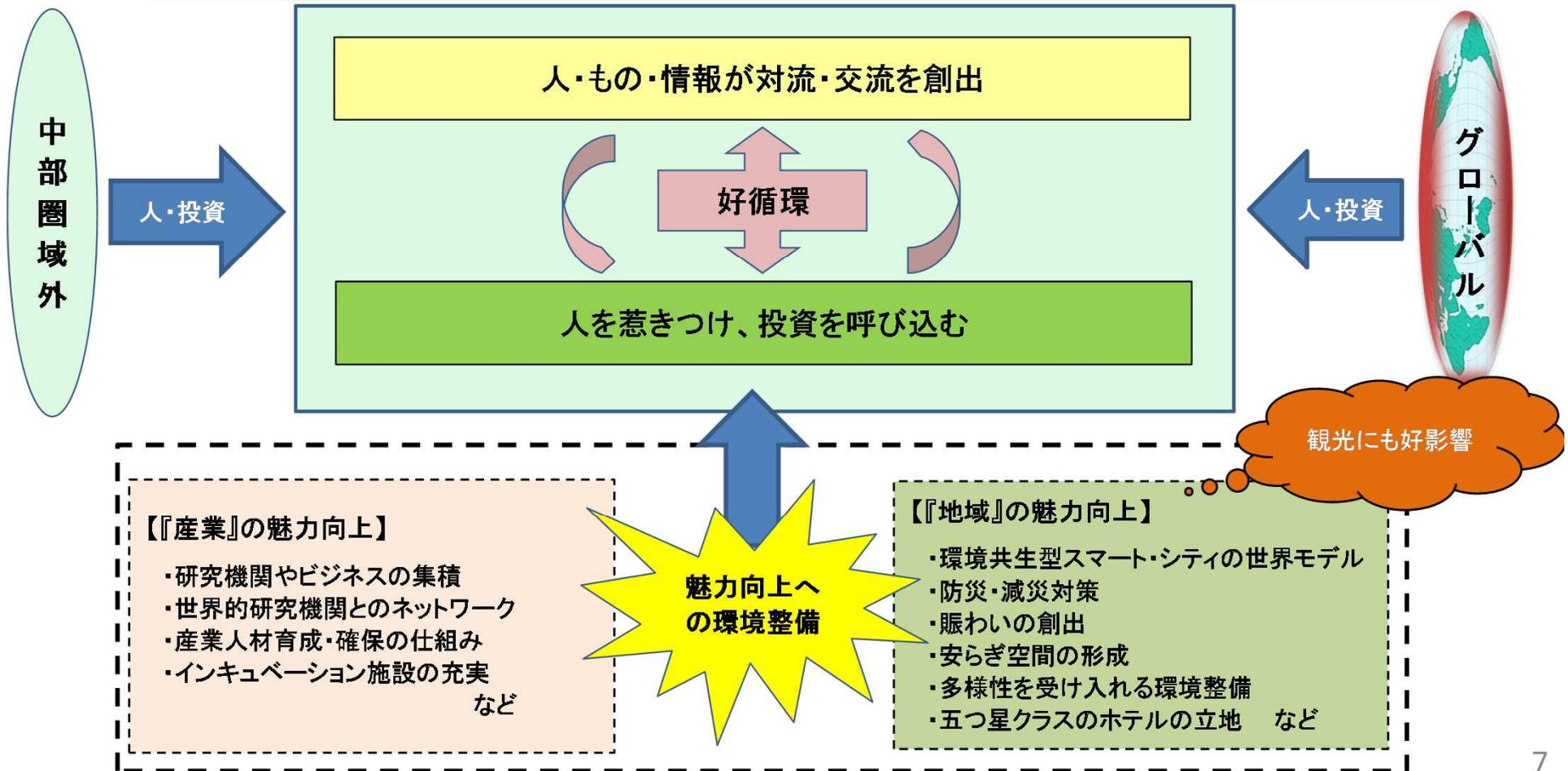


5. 将来像実現に向けて:①求められる『機能』

- 対流・交流による異分野融合を通じた圧倒的なスピード化・生産性、デジタル技術とネットワークを活かした次世代ものづくりの集積と新世代産業の創出に必要な機能
 - ビジネスの素材の融合
 - ✓ イノベーション拠点の整備
 - ✓ デジタル技術とネットワーク化・デザイン思考等に関する人材・産業の集積
 - ✓ 研究機関・教育機関の高度化、広域での産学連携強化
 - 製品化・ビジネスモデルの実証実験
 - ✓ 都市空間・生活空間での実証実験を可能とする環境、「特区」の創設
 - 圧倒的なスピード化の実現
 - ✓ 中部国際空港二本目滑走路の整備、名古屋駅や空港と各地域の移動時間短縮
 - ✓ 圏域内外をつなぐ交通ネットワークの整備
 - ✓ 交通ネットワークとデジタル技術を活用した物流の機能強化・スピード化
 - ✓ 各地域をつなぐ5G、Beyond5G等、大容量高速通信網の整備

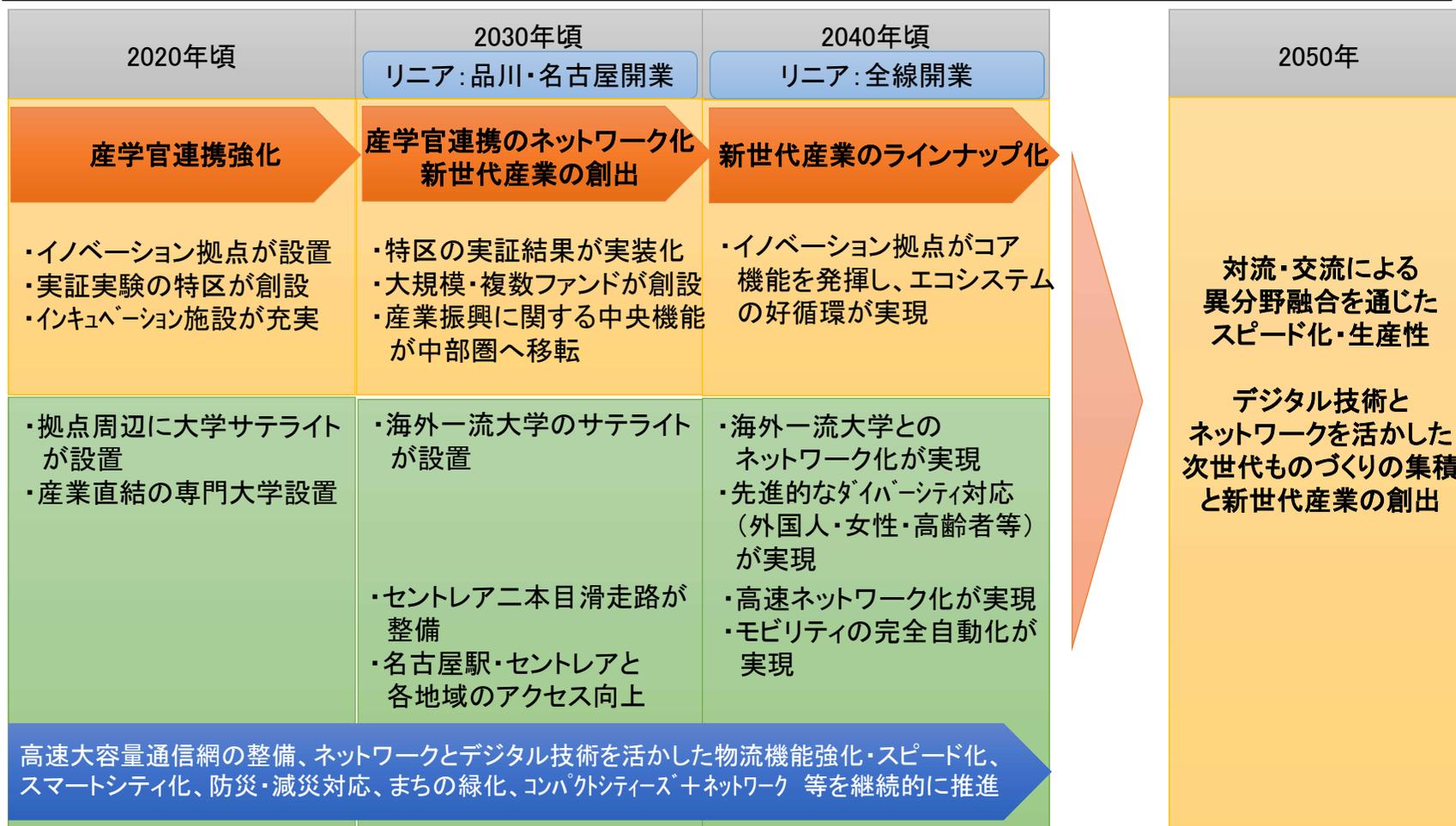
6. 将来像実現に向けて: ②整備すべき『環境』

- 「目指す姿」の実現には、**人・投資を呼び込むための環境整備**が必要
 - 『産業』の魅力向上の視点
 - 『地域』の魅力向上の視点
- 魅力向上への取組みが好循環に繋がる



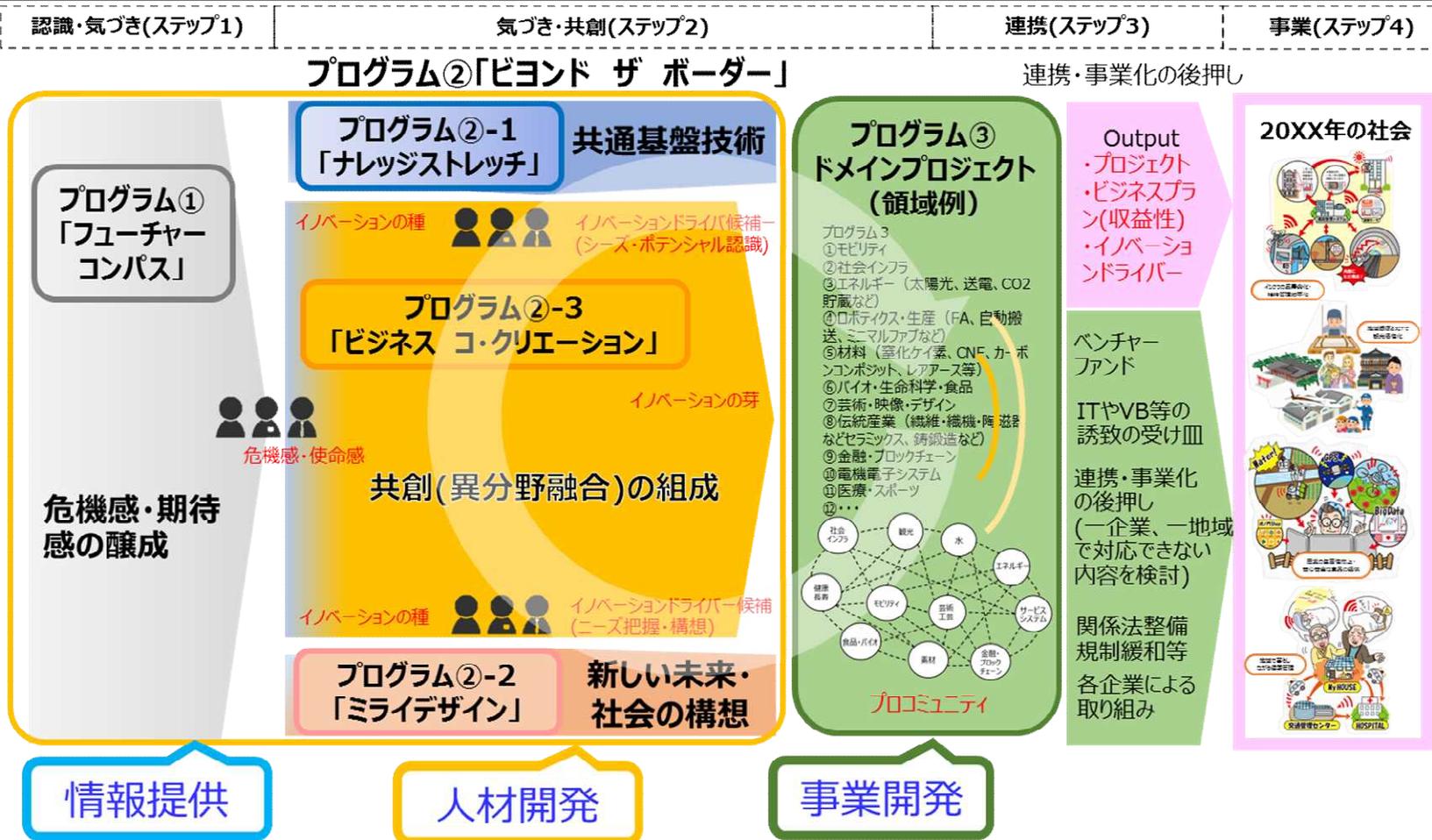
7. 「目指す姿」実現に向けた取組み

- イノベーション人材の育成・確保や実証実験・社会実装が高速で循環し、新産業を創出し続けるイノベーション・エコシステムの構築
- 人・もの・情報の対流・交流を創出し、世界から人を惹き付け、投資を呼び込む
 - これらの実現に向けた取組みをバックキャストで検討し、実行に移す
 - その際、広域で連携し、リーダーシップが発揮される仕組みが必要



【ご参考】取組み事例「中部圏イノベーション促進プログラム」

- 中経連ではイノベーション人材育成に向けたプログラムを自ら策定・開始
 - 今後10年間で1,000名程度の人材育成と事業化の後押しを計画
 - 次年度は更に進化させ、イノベーション拠点を設置し、プログラム・リカレント教育・ベンチャーカフェ等の展開を検討中



中部圏イノベーション促進プログラム 2018年5月スタート

<https://chukeiren-innovation.com>

ご清聴ありがとうございました。

今後とも中部経済連合会の取組みにご理解・ご支援・ご協力を
よろしくお願い申し上げます。

